

京丹後市の財政状況を京都府内の市と比べると

H16経常収支比率

その地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使用されるもので、人件費、扶助費、公債費など歳出の経常経費の一般財源に市税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すものです。経常収支比率は、70～80%の範囲内にあるのが標準的とされ、80%を超えるとその団体は財政構造が硬直化傾向にあるとされるため、経常的経費の抑制に努める必要があります。

【分析】

経常収支比率が、95.3%から93.9%と1.4ポイント低くなりました。しかし、16年度は合併初年度の特別な決算でしたので、通常であれば15年度の収入であった地方税などが16年度で収入されたことが影響したものです。

経常収支比率 (%) 【低いほうがよい】	
福知山市	84.8
舞鶴市	85.7
綾部市	88.4
亀岡市	91.0
城陽市	92.9
宇治市	93.3
京丹後市	93.9 (前年 95.3)
京田辺市	94.6
宮津市	94.8
長岡京市	95.0
向日市	95.8
八幡市	99.3
府内平均 (京都市除く)	95.3
市平均	92.5
町村平均	96.7

資料：平成16年度地方財政状況調査

- ① 福知山市は合併前の旧福知山市の数値です。
- ② 京都市と合併した旧京北町は除いています。

H16地方税

市民税や土地、家屋、償却資産などの固定資産税のほか、軽自動車税や入湯税などがあります。

その地方公共団体が他に依存することなく、自主的に財源を求めることができるもので、地方公共団体の財政基盤の安定や市民のみなさんのニーズに応じた自主性のある行政運営を行うために必要となる重要な税収入です。

市民のみなさんの所得が向上したり、新たな住居が増えたりすれば増加します。

【分析】

地方税は、15年度と比べ3億8,683万円の増収となっています。しかし、16年度は合併初年度の特別な決算でしたので、通常であれば15年度の収入であった市税などが16年度で収入されたことによるもので、税収そのものが増えたということではありません。

地方税 (千円)	
宇治市	21,655,516
長岡京市	10,900,001
舞鶴市	10,428,791
福知山市	9,637,652
亀岡市	9,286,027
八幡市	8,516,205
城陽市	8,427,946
京田辺市	8,307,914
向日市	6,201,567
京丹後市	5,462,529 (前年 5,075,697)
綾部市	4,243,370
宮津市	2,994,000
府内平均 (京都市除く)	3,723,738
市平均	8,838,460
町村平均	1,268,671

資料：平成16年度地方財政状況調査

- ① 国民健康保険税(料)は含めていません。
- ② 福知山市は合併前の旧福知山市の数値です。
- ③ 京都市と合併した旧京北町は除いています。

H17地方交付税

地方公共団体が自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために、国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税それぞれの一定割合の額を、国が地方公共団体に対して交付する税です。財政力の弱い地方公共団体は、地方交付税の配分割合が高くなります。

地方交付税には、普通交付税と災害などの特別な事業に応じて交付される特別交付税があります。

【分析】

合併の特例や雪害により地方交付税は前年度とほぼ同額を確保することができましたが、国の三位一体の改革により地方交付税は縮減される方向です。このため、行財政改革を一層推進し、持続可能な財政運営に努める必要があります。

地方交付税 (千円)	
京丹後市	12,965,091 (前年 12,740,578)
福知山市	9,900,150
亀岡市	7,271,589
宇治市	5,900,948
舞鶴市	4,653,844
綾部市	4,577,523
城陽市	4,030,984
八幡市	3,996,472
宮津市	3,414,916
向日市	2,668,158
京田辺市	2,284,327
長岡京市	1,524,723
府内平均 (京都市除く)	3,495,072
市平均	5,265,727
町村平均	2,078,548

資料：平成17年度普通交付税額および特別交付税額（京都府総務部地方課）

この「わかりやすいことしの予算」の内容に関するご意見・お問い合わせは、京丹後市役所 総務部 財政課（☎0772-69-0160）へお気軽にご連絡ください。